

【R4.6.3】

下田市グローバル CITY プロジェクト 基本方針

目次

1. プロジェクトの目的	1
2. 本プロジェクトの背景	1
3. 本プロジェクトにおけるグローバルの定義	2
4. 本プロジェクトの骨子	4
5. 計画期間	4
6. 体系図	5
7. 主要事業の概要	
1) 教育振興事業	6
2) グローバル推進事業	8
8. 令和4年度の計画	14

1. プロジェクトの目的

下田市は、幕末開港の歴史を活かし、幅広い分野・幅広いレベルでの国際交流をつないできたまちであり、他のどの地域にもないこの「国際交流」の歴史は、世界に誇るべき「まちの財産」である。今後も下田市は、こうした地域であることを誇りとし、「国際交流」のトップランナーとして、教育や社会に活用していく国際交流の先進都市であることが求められている。

また、今の世の中は、あらゆる分野で地球規模の活動や交流が進められており、この国際化の流れは今後益々広がりを見せることが予想されることから、人やまちの「国際性」を高めていくことが必要となる。

市制施行 50 周年を契機に、他のまちにはない下田市の国際性を活かし、これからの国際化社会で活躍できる人材の育成と、下田で育った人材との多様な関わりを持ち続けることにより、人・モノ・地域といった横のつながりとともに、過去から未来への縦のつながりをつくり、世界に通じる魅力的で持続可能な新しい未来の下田の創出に向けて、「下田グローバル CITY プロジェクト（以下「本プロジェクト」という。）」を発動する。

2. 本プロジェクトの背景

様々な技術の発展や新型コロナウイルスの感染拡大等により、環境が大きく変化した今の社会は、将来の予測が困難な「VUCAの時代（Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性）」とも呼ばれており、この環境変化の中で、社会の課題やニーズも多様化・複雑化しています。

地球規模で環境が変化し、国際化が進むこれからの社会においては、国・人種・言語・文化等の違いを受容できる国際性（グローバル）とともに、「一流の国際人は一流の文化人」という言葉に象徴されるように、我が国、わが故郷の歴史や文化の理解に基づく地域性（ローカル）を併せ持った人材（人財）の育成と協働が不可欠である。

本プロジェクトの目的達成に向けて、国際性と地域性を併せ持った「グローバル人材（人財）」の育成とともに、グローバル人材との協働により、開国の歴史に基づく国際性と、豊かな自然環境等に彩られた地域性を活かしたまちづくりを推進する。

3. 本プロジェクトにおけるグローバルの定義

本プロジェクトで育成を目指す「グローバル人材（人財）」とは、自身の価値観を正しく保ちながら、多様な文化や思考を受け入れ、互いを理解し合うことができる人。そして、その違いや環境の変化等を的確に捉えて柔軟に対応し、自らの意見を自らの言葉で伝え、行動できる人です。

グローバル人材の育成には、「受容性」「価値観」「コミュニケーション能力」「対応力」「語学力」の5つの素養が必要と考えます。

① 受容性

人は、それぞれ生まれ育った環境により、異なる文化や風習等を持っており、その背景に基づく価値観を有しています。国際化とともに社会の多様性が増している中、違いを認め、受け止め、尊重できる受容性が必要です。

② 価値観

目まぐるしく変化する社会において、様々な国の人と出会い、多様な価値観や意見に触れる中で、自らの意思や考えをしっかりと保ち、行動するためには、自身のルーツとなるこの国やこの地域の歴史・文化の理解を深め、自身の基準となる価値観を持つことが必要です。

③ コミュニケーション能力

様々な国や地域の人々と関係性を深めていくためには、双方向の意見交換により相手を理解し合うことが重要です。相手を知るための質問力や自分の意見を伝えることができる相互性のあるコミュニケーション能力が必要です。

④ 対応力

技術の発展や社会のグローバル化等により、様々な変化が生まれ、人・モノ・場所を選ばない生き方や働き方が可能となり、課題やニーズが多様化・複雑化している現代社会では、幅広い視野で物事を捉えるとともに、その時、その場所に応じた柔軟な対応力が必要です。

⑤ 語学力

これからの国際化社会では、外国人との交流が不可欠です。様々な国の人々と意思の疎通を図るには、共通言語となる外国語を身に着け、相手の意見を理解し、自らの考えを正しく伝えることのできる語学力が必要です。

また、人材育成とともに取り組む、「国際性（グローバル）」と「地域性（ローカル）」を活かした持続可能なまちの姿とは、先人たちが守り、築き上げてきた地域の資源を活かすとともに、多様性を受け入れ、互いに尊重し合い、助け合う、「つながり」のあるまちです。

本プロジェクトで目指すグローバルなまちづくりには、「教育」「交流」「協働」の3つの環境が必要と考えます。

① 教育

豊かな自然環境に囲まれた地域の魅力や、このまちの国際性を活かした外国人との交流体験を通じて、地域への誇りと愛着を醸成するとともに、国際性と地域性の両面を学ぶ。

また、小中高の連携促進による一貫した教育プログラムの実施により、段階的にグローバル人材としての素養を育むことができる魅力的な教育環境をつくる。

② 交流

黒船祭や国際友好コンサート等の国際交流行事に加え、ニューポート市との姉妹都市交流や在日ロシア大使館学校への訪問といった市民レベルでの交流のほか、オンライン環境を活用して国内外の交流を推進し、国・言語・文化・慣習等の違いに触れ、相互理解を深める多彩な交流環境をつくる。

③ 協働

地域の魅力を磨き上げるため、まちの歴史や文化等を学ぶ地域学習、SDGs等の世界的な取組をまちづくりに取り入れるための学習講座やワークショップ等のほか、外国人生活相談やインバウンド観光の推進等、多様性を受け入れる環境づくりとともに、持続可能な地域社会の構築に向けて官民連携で取り組むつながりのある協働環境をつくる。

4. 本プロジェクトの骨子

本プロジェクトは、「教育振興事業」と「グローバル推進事業」の2つの事業を柱として構成し、グローバル人材（人財）の育成とU I Jターン人材の確保に努めるとともに、市民（市内在住外国人を含む）・学生・姉妹都市・大学・民間事業者といった多様な主体の参画による持続可能なまちづくりを推進する。

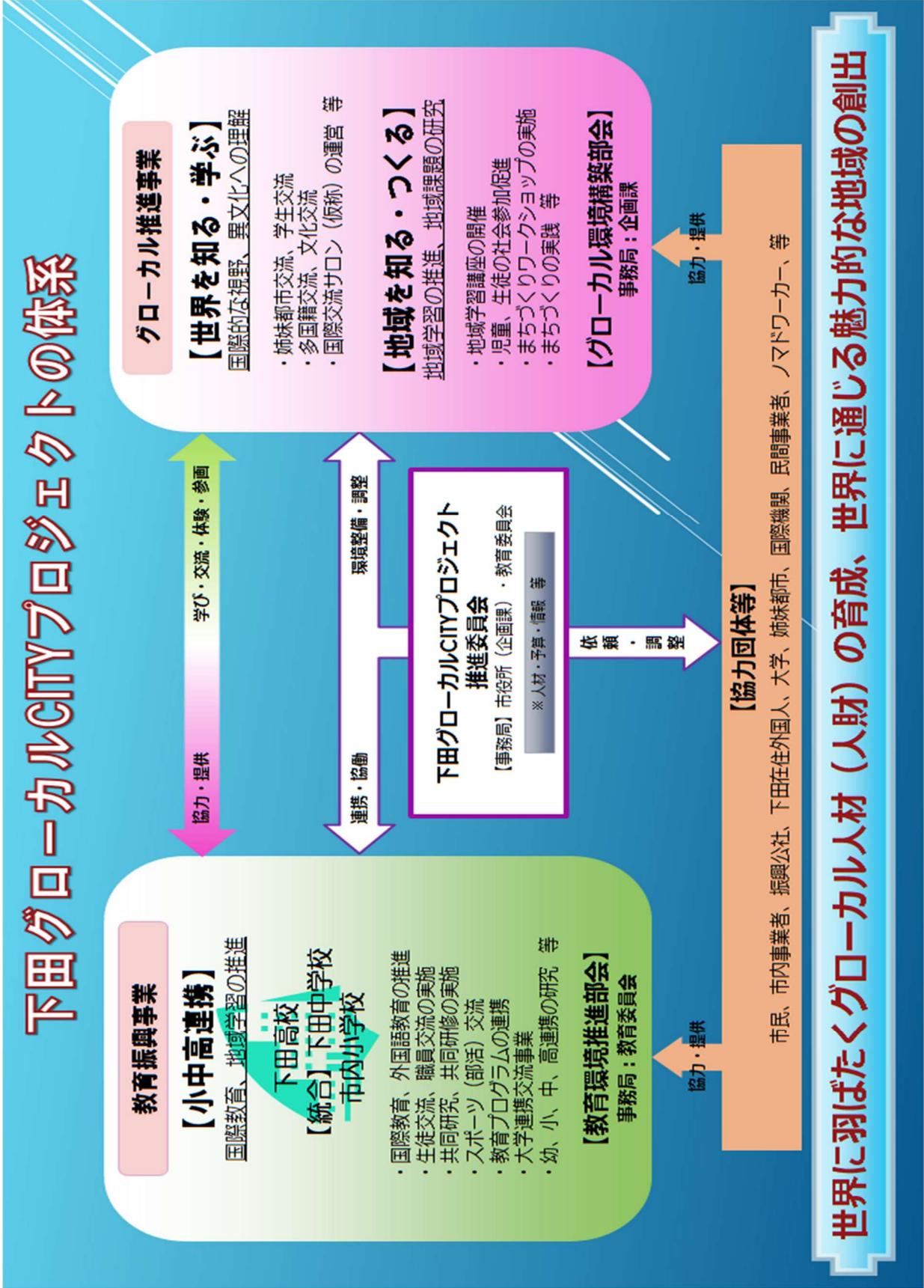
「教育振興事業」は、小中高の連携強化により、生徒間・教職員間交流の促進、一貫的な教育プログラムの検討・実施、国際化社会で活躍するための外国語教育と国際文化教育を推進し、国際化と多様化が進む社会において、柔軟な発想と強い意志をもって活躍できる人材を育成する教育環境の実現を目指す。

「グローバル推進事業」は、国際交流を通じ、国際的な視野と異文化への理解を養う環境をつくとともに、地域を知り、地域について学び、官民連携による人材育成とまちづくりの推進に取り組み、他にはない地域の特色を活かした魅力的なまちづくりを実践する。

5. 計画期間

本プロジェクトは、令和4年度から令和8年度を計画期間として、人材育成及び協働体制の構築を主題として取り組むとともに、目的の達成に資する施策の検討・実施についても併せて推進する。

6. 体系図



7. 主要事業の概要

1) 教育振興事業

小中高の連携強化により、各年代での教育プログラムや教育課題の共有、共同研究・共同研修の実施、部活動を通じたスポーツ交流など、生徒間・教職員間の交流を促進するため、教職員・地域・行政が参画している「未来の下田創造プロジェクト」を活用して、連携による教育環境の充実を図る。

小中高の連携に加えて、玉川大学等の高等教育機関との連携や、国内外の学生との交流を推進し、外国語の強化とともに、国や文化の違いを理解し、多様性を受け入れる国際教育を推進する。

また、「グローバル推進事業」を活用して、地域の方々の仕事や経験を学び、自らも地域に関わりながら地域の課題に触れることで自身の価値観を醸成するとともに、それぞれの生徒が学んだ成果を、自らの考えとして自らの言葉で発信できる場を作り、コミュニケーション能力や対応力の向上を図り、グローバル人材に必要な素養を育む。

<主な取組>

①小中高連携の推進

ア. 未来の下田創造プロジェクトの開催

新中学校の開校を機に、未来の地元住民を育成するという視点を盛り込んだ新たな学校の在り方を検討するため、教育、地域、行政に関わる人々を委員として構成された「未来の下田創造プロジェクト」を活用して、VUCAの時代で活躍できるグローバル人材の育成に必要な教育環境の実現に向けた検討を行う。

イ. 生徒間の交流の促進

中高での総合学習や総合探求の成果を互いに発表し、意見を交わすことで、それぞれの年代での気付きや考え方等に触れ、学びの成果に新たな視点や視野を得る機会とする。また、学習だけでなく、部活動を通じた交流も実施し、生徒間の交流を促進する。

ウ. 職員間の交流の促進

小中高の教育課程において求められる心身の成長を促し、これからの社会を切り拓いていくことのできる力を育てるため、職員間の連携を強化し、各年代での教育の目的や取組、科目別の理解度といった教育課題も共有し、より効果的で一貫した教育の提供を図る。

②国際教育の推進

ア. 国際文化学習の実施

言語としての外国語の習得だけでなく、それぞれの国の政治・歴史・宗教・食事・生活慣習といった文化を学ぶことで、単なる意思疎通ができるだけでなく、互いの価値観や倫理観等を理解し、多様性を認めたくえで、自らの考えを自らの言葉で伝えられる国際的な素養を持った児童・生徒の育成に取り組む。

イ. コミュニケーション能力の育成

小中高の連携により、各年代において求められる達成目標や各学年、各学級の実態といった情報を共有するとともに、一貫的な教育プログラムの実施により、早くから外国語に触れる機会をつくり、外国語に対する苦手意識の克服や、これからの国際化社会における外国語習得の必要性の認識を高めるなど、段階的にコミュニケーションを図る資質・能力の育成に取り組む。

ウ. 大学と連携した外国語教育の充実

玉川大学との連携や賀茂キャンパスといった大学との連携・交流の場を活用し、大学生からの外国語学習指導や高等教育機関での研究等について情報を得ることで、語学力の強化と進学に向けた更なる学びへの意欲の向上を図る。

エ. 国内外の児童・生徒交流

語学力の強化とともに国際的な感性を養うため、タウンゼントハリス高校やキニック高校との関係を生かし、黒船祭やオンライン交流を通じて同年代の生徒同士の交流の場を作り、互いの生活や文化について学び、話す機会を創出する。

2) グローカル推進事業

本市の国際性をさらに高め、世界基準での課題やニーズを把握し、言語や文化の違いを受け入れる国際的な土壌をつくるため、黒船祭をはじめとする国際交流事業への学生や市民の参画を促進するとともに、外国の文化や生活習慣等への理解を深めるための交流イベントの実施、幅広い人が日常的に交流できる居場所づくり等により、国際交流を推進する。

国際性の向上とともに、生まれ育ったこの国やこのまちの歴史・文化・地域資源等についての知識や理解を深めるための地域学習を推進し、自身の基準となる意思や価値観をしっかりと持った人材の育成に努める。

また、本市の様々な資源を活かした国際性と地域性を有した持続可能なまちづくりの推進に向けて、官民連携による活動を実践する。

<主な取組>

①国際交流の推進

ア. 国際交流事業

黒船祭やニューポート市との姉妹都市交流について、学生や市民の参加を促進し、言語や文化の相互理解を深めるとともに、インターネットの活用等による個人間での自主的な交流が行われる下地を作り、日常的な国際交流の実現を図る。

イ. 国際交流イベントの開催

国際交流の推進に向けた講演会や研修会の実施、市内在住外国人との食や文化の紹介・体験を通じた交流等により、外国の文化に触れる機会や、互いの国の生活習慣等についての理解を深め、グローバルな視野を養うためのイベントを開催する。

ウ. 国際交流サロンの創設

学生、市民（市内在住外国人を含む）、下田市への来訪者など幅広い人が気軽に利用でき、多方面からの情報や知識を共有できる交流と人材育成の場としての活用を図るため、経験や活動を伝える講座、まちづくりに関するワークショップの開催など、様々な利用ができる交流サロンを整備する。

②地域学習の推進と人材の育成

ア. 地域学習の推進

まちの歴史や文化、自然環境、仕事といった下田のまちを構成する要素について、体験プログラムを通じた児童・生徒の学びの機会をつくとともに、下田の特性を世界に通用する魅力として活かしていくため、住民の地域学習、地域研究講座を開催する。

イ. 児童・生徒の社会参加の促進

総合学習や総合探究を通じて、地域の方々の仕事や生き方から学ぶ場をつくり、児童・生徒自らが地域に関わりながら、地域の課題について考え、解決案を検討・提示することができる環境を提供する。

ウ. 学習拠点の整備

まちの歴史や文化、自然環境を学ぶ地域学習の推進と地域の課題について考え、解決案を検討・提示できる地域人材の養成を促進するため、図書館や情報交流施設等の学習施設（機能）の整備を推進する。

③まちづくり実践活動の推進

ア. まちづくりワークショップの実施

グローバルな素養を持つ人材の育成と併せ、それぞれの人材が持つ知見を活かして、下田の持つ魅力を世界に通用するものとして磨き上げ、世界の人々を受け入れるグローバルな社会の構築に必要な取組を検討するため、多様な人材が参画するまちづくりワークショップを実施する。

イ. まちづくり塾の開催

ノマドワーカーの招致や副業人材の活用といった幅広い人材の参画と関係人口の創出を促すとともに、下田市が取り組むまちづくりの実現・推進に向けて、新たな視点からまちの活性化を検討するため、まちづくり塾を開催する。

ウ. 持続可能なまちづくりの実践

地域資源の活用とともに、外国人生活相談や日本語教室といった生活支援、インバウンド観光の推進に向けた多言語表記、観光関連事業者や飲食店等への外国人対応セミナーの開催等により、本市の持つ国際性と地域性を活かした魅力的で持続可能な環境づくりに取り組む。

④産業振興との連携

ア. 国際的な視点を活かした産業振興の推進

グローバル CITY プロジェクトの推進により広がる人的、経済的ネットワークを活用して、外国企業の誘致、外国との交易（輸出入）の促進、インバウンド観光の強化など、グローバル産業の振興に向けた施策を展開します。

イ. 国際感覚をもった企(起)業人の育成

下田市という地の利を活かした国際感覚を持った企(起)業人の育成を図るため、国際舞台で活躍する企(起)業家を招いた（オンライン含む）研修機会の提供や下田在住の外国人企(起)業家と高校生との交流事業などを展開するとともに、海外に通用する下田ブランドを創出するための地場産品開発に取り組めます。

ウ. 空き家・空き店舗の活用

市内における新規の出店や起業の促進、新規のグローバルプロジェクトの活性化に向けて、増加している空き家や空き店舗の活用を促すための補助制度の創出やマッチングイベントの開催等の施策を実施することにより、空き家・空き店舗を活用した本プロジェクトの推進に取り組めます。

事業名		主な取組
教育振興事業	① 小中高連携事業	ア. 未来の下田創造プロジェクトの開催
		イ. 生徒間の交流の促進
		ウ. 職員間の交流の促進
	② 外国語教育、国際教育推進事業	ア. 国際文化学習の実施
		イ. コミュニケーション能力の育成
		ウ. 大学と連携した外国語教育の充実
		エ. 国内外の児童・生徒交流
	グローバル推進事業	① 国際交流活性化事業
イ. 国際交流イベントの開催		
ウ. 国際交流サロンの創設		
② 地域学習推進事業		ア. 地域学習の推進
		イ. 児童・生徒の社会参加の促進
		ウ. 学習拠点の整備
③ まちづくり活動推進事業		ア. まちづくりワークショップの実施
		イ. まちづくり塾の開催
		ウ. 持続的なまちづくりの実践
④ 産業振興連携事業		ア. 国際的な視点を活かした産業振興の推進
		イ. 国際感覚をもった企(起)業人の育成
		ウ. 空き家・空き店舗の活用

取組内容	担当課
小中高教員の連携による魅力的な教育環境の検討	学校教育課
部活動交流、高校生による学習指導、等	学校教育課
教育課題の共有、科目別教育プログラムの検討、等	学校教育課
異文化への理解促進、国際的な素養を持った児童・生徒の育成	学校教育課
コミュニケーション能力の育成、外国語に触れる機会の創出、等	学校教育課
大学生による語学学習、高等教育機関の情報提供	学校教育課
同年代の児童・生徒交流による国際的な感性を育む	企画課、学校教育課
黒船祭の開催、姉妹都市交流の促進、日常的な交流機会の創出	企画課、観光交流課
講演会、研修会の実施、文化体験イベントの開催、等	企画課
多様な人が利用可能な交流サロンの創設	企画課
地域で学び、体験する機会の創出	企画課、学校教育課、生涯学習課
地域課題研究、解決案の検討、まちづくりへの参画	企画課、各事業担当課
図書館や情報交流施設等学習施設の整備	企画課、生涯学習課
まちづくりワークショップの実施	企画課
まちづくり塾の開催	企画課
生活環境改善、外国人支援、新たなまちづくり施策の検討・実施	企画課、各事業担当課
外国企業の誘致、外国との交易促進、インバウンド観光の推進	企画課、観光交流課、産業振興課
国際的企(起)業感覚の学習、地場産品の開発	企画課、産業振興課
空き家・空き店舗活用事業、マッチングイベントの開催	企画課、産業振興課

8. 令和4年度の計画

◆ 未来の下田創造プロジェクト … 担当課：学校教育課

【事業の概要】

小中高の学校関係者、保護者、市民、行政関係者による検討を中心に、小中高の連携を基盤とした教育プログラムや本計画の実践を通じたグローバルな教育及びまちづくりを推進し、下田における魅力的な教育環境の実現を図る。

【取組内容】

- ① 令和3年度に実施した、35歳の地元住民を育てるための企画書（マンダラチャート）を基に、教育現場や地域で実施可能な取組を検討し、実践に向けた協議を行う。
- ② 部活動交流、上級生による学習指導、地域課題研究等、小中高連携に向けた取組を検討・実践し、継続的な交流体制の構築を図る。
- ③ 小中高の教職員同士による授業参観や意見交換等により、各年代における学校生活の現状や学習課題等を共有し、一貫的な教育プログラムの検討や教育環境改善に向けた提案を行う。

◆ 外国人とのコミュニケーション講座 … 担当課：企画課（新規事業）

【事業の概要】

英語で話す事の楽しさや自身の英語が通じる喜びを感じてもらうほか、市民（事業者）の外国人（在住者、来訪者）への対応力向上を図り、外国人との積極的なコミュニケーションを取ろうとする意識の醸成と、外国人が来やすい、住みやすい環境整備を図る。

【取組内容】

- ① 中高生を対象に、買い物や道を尋ねられた場合等、旅行先や日常生活で起こり得るシチュエーション会話等を英語で行い、英語を学ぶ意識の向上と英語に対する苦手意識の克服を図る。
- ② 市民（事業者含む）を対象に、日常生活や営業活動における英語対応を学び、インバウンド観光の促進に向けた来訪者への対応力向上のほか、市内在住外国人とのコミュニケーションを高めることで、日常生活での交流機会の増加を促進する。

◆ **異文化学習講座** … 担当課：企画課（新規事業）

【事業の概要】

異文化や世界的な視点を学ぶ市内在住外国人との交流事業。外国での生活、文化や慣習等のほか、外国人の視点からみた日本（下田）の話聞き、国際的な視野と異文化を享受できる素養を育むとともに、市内在住外国人との交流の増加により、異なる慣習を互いに理解し、尊重し合える生活環境を実現させ、外国人の生活環境改善と市民の国際性の向上を図る。

【取組内容】

- ① 中高生を対象に、学校生活、遊び、食事、音楽、流行しているもの等の興味を持ちやすい話題から、経験談等を交えた話をしてもらうことで、進学・就職といった今後の進路に関して、海外を含めて視野を広げてもらうことを意識した交流を実施。
- ② 市民（事業者含む）を対象に、文化や慣習の違いを互いに学ぶことで相互理解を深めるほか、地域コミュニティへの参画や災害対策等、下田での外国人の生活環境改善に向けた取組を推進する。

◆ **体験プログラム事業** … 担当課：学校教育課

【事業の概要】

小中学生の総合学習の時間を活用し、様々な体験や交流を通じて地域について学ぶとともに、オンライン等を活用して国内外の文化や仕事も学び、自身の将来設計に向けた知見や経験を得る機会をつくる。

【取組内容】

- ① 既存の体験プログラムの取組をベースに、地域について学ぶ機会をつくる。
- ② 市内在住外国人やワーケーションユーザー等により、市外・国外の文化や仕事を学び、市内では得にくい情報や経験を得る機会をつくる。

◆ **英語力向上プロジェクト事業** … 担当課：学校教育課

【事業の概要】

玉川大学との連携により、大学生が小中学生への外国語学習指導を実施するほか、高等教育機関での学習や生活等について情報提供を行い、更なる学びの意欲向上を図る。

【取組内容】

- ① 玉川大学と連携し、黒船祭での米海軍へのガイドのほか、秋に英語での授業を実施。

◆ 黒船祭（小中高との交流） … 担当課：観光交流課（各担当職員）

【事業の概要】

黒船祭に参加するニューポート市代表団や米海軍、キニック高校との交流を通じて、相互理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の強化を図る。

児童・生徒の国際交流の機会として、中学校への訪問交流や、小中高生の同年代の祭典参加者も含めた米国とのオンライン交流等、交流機会の増加を図る。

【取組内容】

- ① ニューポート市代表団による白浜小学校訪問交流。
- ② 米海軍による市内小学校（白浜小学校を除く）訪問交流
- ③ キニック高校と下田高校（英語部）との交流

◆ 日露友好交流事業 … 担当課：企画課

【事業の概要】

幕末におけるロシア人との友好の歴史を伝承し、ロシアとの交流を深めるため、各種事業を実施し、下田市ならではの多様な国際交流を推進する。

【取組内容】

- ① 玉泉寺ロシア人墓地での慰霊祭を実施するほか、日露関係の歴史等について学ぶため、講演会や映画上映を開催。
- ② 市内小学生による在日ロシア大使館学校への訪問のほか、国際友好コンサートを開催し、同年代の児童・生徒間交流及び外国の芸術や文化を体験する。

◆ オンライン交流事業 … 担当課：企画課（新規事業）

【事業の概要】

オンライン環境を整備し、コロナ禍等での非対面交流を可能とするほか、交流機会の増加を図り、同年代の交流や姉妹都市交流等を促進する。

国内外の交流を促進することで、新たな発見と相互理解の深化を促し、多様性を享受できる素養を育む。市内在住外国人との交流等により国際交流サロンの創設に至った際には、サロン内にオンライン環境を整備し、更なる交流の促進を図る。

【取組内容】

- ① オンライン環境整備のための備品購入。
- ② 姉妹都市や御用邸友好都市とのオンライン交流を検討。

◆ 高校生インターンシップ事業 … 担当課：企画課（新規事業）

【事業の概要】

高校生の進路（就職）検討と地元への就職増加を図るため、高校生の地元企業へのインターンシップを南伊豆町との連携により実施。

高校側、企業側のニーズを聞きながら継続的に実施。地元就職者の増加を図るため、キャリア支援等の取組も検討していく。

【取組内容】

- ① 南伊豆町と連携して、南伊豆分校生徒のインターンシップを実施。

◆ SDGs推進事業 … 担当課：企画課（新規事業）

【事業の概要】

本市を取り巻く環境について、SDGsの視点で見つめ直し、暮らしやすいまちであり続けられるよう、自らが考え、自らが行動して、持続可能な地域社会をつくり挙げていく活動を官民連携で推進する。

【取組内容】

- ① SDGsの基本的な概念や、先進的な事例等を学ぶ講演会や研修会のほか、下田に必要なSDGsの取組について検討を行うワークショップを開催。
- ② 下田の大きな魅力である「海」の環境を守り続けていくため、海岸清掃等の海での実践行動に加え、海の源流である川や山の環境にも活動の幅を広げていく。
- ③ 学習活動や実践行動を通じて、本市におけるSDGsの取組の方向性（ゴール）や今後の活動等について官民連携で協議を進め、「SDGs未来都市」としての選定に向けた計画検討を実施。

◆ 下田まちづくり塾 … 担当課：企画課（新規事業）

【事業の概要】

人口減少や産業の低迷等による地域活力の低下に歯止めをかけ、関係人口の創出、起業支援、産業誘致、移住促進等の取組を推進するため、官民の枠を越えて、若い人材が集い、共に学び、考え、行動してまちづくりを推進する。

【取組の内容】

- ① 地域課題の解決や関係人口の創出のためLACのワーカーと市民とのマッチングを行う。
- ② まちづくりの意識醸成のため、世界・国内の時流に合わせたテーマに基づく時事講演を開催。

- ③ まちづくりの推進に向けた取組を検討するため、全国各地の先進的事例を推進したキーマンを講師として招聘し、対論形式によるワークショップを開催。
- ④ まちづくり塾での学びや交流を通じて発見した課題の解決に向けた活動を実践するほか、活動への参画を促すため、市内外に向けて活動紹介等の情報発信を実施。

◆ **外国人生活支援事業** … 担当課：企画課

【事業の概要】

市内在住外国人が抱える言語や習慣の違い等による日常生活への不安の解消を図るため、下田市振興公社により各種生活支援を実施。

【取組内容】

- ① 生活習慣の違い等により発生した近隣住民とのトラブル解消等の相談業務を実施。
- ② 日本での生活における円滑な意思疎通を図るため、外国人向けの日本語教室を開催。

◆ **まちづくりワークショップ** … 担当課：企画課（新規事業）

【事業の概要】

下田の持つ魅力を世界に通用するものとして磨き上げ、世界の人々を受け入れるグローバルな社会の構築に必要な取組を検討するため、多様な人材が参画するまちづくりワークショップを実施し、グローバルな素養を持つ人材の育成と併せ、それぞれの人材が持つ知見を活かして、グローバル CITY プロジェクトを推進する。

【取組内容】

- ① 地域の魅力や世界を学ぶ講演会や研修会のほか、下田に必要なグローバルの取組について検討を行うワークショップを下田に住む外国人など多様な人材を巻き込み開催する。